2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月16日

上 場 会 社 名　　株式会社カヤック　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　3904　　URL　http://www.kayac.com/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役CEO　　（氏名）　柳澤　大輔
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員管理本部長　（氏名）　丹治　拓未　　（TEL）0467-61-3399
配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（個人投資家向け、証券アナリスト・機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	16,373	15.1	721	2.4	729	17.8	332	△48.6
2025年12月期第３四半期	14,222	18.8	704	249.0	619	230.8	646	―

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　377百万円（△40.9%）　2025年12月期第３四半期　638百万円（　　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	21.56	―
2025年12月期第３四半期	40.16	―

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	15,671	6,620	38.4
2025年12月期	13,556	6,297	42.5

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　6,010百万円　　2025年12月期　5,759百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	3.90	3.90
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				7.77	7.77

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	14.5	1,000	△6.6	950	11.7	600	△12.3	38.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　１社（社名）　（株）ブレインサービス　、　除外　　―社（社名）　　―

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	16,108,800株	2025年12月期	16,108,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	700,266株	2025年12月期	700,266株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	15,408,534株	2025年12月期３Ｑ	16,108,534株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループは、創業以来25年以上にわたり「面白法人」を標榜し、「つくる人を増やす」という経営理念のもと事業を展開しております。既存の枠組みにとらわれない独自のアイデアと先端テクノロジーを活用し、受け手に驚きや感動を生むコンテンツを企画・開発することで、社会に新たな価値を創出することを目指しております。

当社グループはデジタルを中心に複数のコンテンツ領域で事業を展開しており、これまでクリエイターを中心とした経営アセットの横断的かつ柔軟な活用を背景に、単一セグメントとして開示を行ってまいりました。

しかしながら、事業規模の拡大及び事業内容の高度化・複線化が進む中で、当社グループの中期的な成長の方向性をより明確にお示しするとともに、各事業のフェーズや特性に応じた成長を加速させることを目的として、当連結会計年度よりセグメント情報の開示を開始し、事業を「ブランド&マーケティング」「ゲーム・アニメ」「ちいき資本主義」「その他」の４つのセグメントに整理いたしました。これにより、各事業の成長フェーズや収益特性、経営資源の配分及び投資判断についての透明性を高め、グループ全体としての持続的な成長と企業価値の向上を図ってまいります。

各セグメントの概要及び当期の主な方針は以下のとおりです。

① ブランド&マーケティング

広告の企画・プロデュースを起点として、企業・プロダクト・地域を対象としたマーケティング支援を行う事業群で構成されております。ブランデッドコンテンツ制作、コミュニティマーケティング、インフルエンサー施策、イベント制作、商品開発、DX推進支援等を担う子会社・事業を含み、従来は個別に提供してきた受託機能を横断的に統合することで、戦略設計から実行・運用・改善までを一気通貫で担える体制を構築しております。

本セグメントにおいては、案件単位での制作・実装にとどまらず、複数の専門機能を組み合わせることで、顧客の課題設定や施策全体の設計段階から関与し、継続的な運用・改善を含む支援モデルへの転換を進めております。これにより、ブランドや事業、プロダクトの価値を中長期で積み上げる役割を担うことが可能となり、当社の持つコンテンツ開発力を核とした付加価値の高い支援へと進化させることで、利益率の安定化及び持続的な収益性向上を図る方針です。

② ゲーム・アニメ

グローバル市場を対象としたカジュアルゲーム事業の深化と、アニメーション領域への投資を推進するセグメントであり、当社グループの核となる中期的な成長投資領域と位置づけております。

カジュアルゲームにおいては、ハイパーカジュアルゲームを中心に隣接ジャンルへの拡張を進めており、日本企業として世界市場におけるアプリダウンロード数で５年連続１位を達成しております（出所：Sensor Tower／ data.ai／AppMagic）。この実績は、ゲーム領域における「プレイヤー数（年間総ダウンロード数）」という評価指標において、当社が世界でもトップクラスのポジションにあることを示すものであり、本ブランドを活かしたパートナーとの協調や経営アセットの獲得を通じて、さらなる成長を目指してまいります。

また、㈱カヤックアキバスタジオを通じて大型IPとの共同開発による新規ゲーム事業を推進しております。本プロジェクトは約２年弱の開発期間を経て将来の飛躍的な成長を目指すものであり、当連結会計年度において約３億円の先行投資を予定しております。当社の会計方針上、当該開発投資は損益計算書において費用計上する予定であります。アニメ領域につきましても、世界的な需要拡大を背景に、次なる成長の柱として探索を継続してまいります。

③ ちいき資本主義

国内トップの利用数を誇る移住・関係人口プラットフォーム「スマウト」を中心に、地域の人的資本領域を対象としたセグメントです。全国約1,700の自治体のうち1,200以上の地域への導入が進んでおり、今後は民間企業（toB）への商域拡大を進めることで、さらなる収益基盤の強化を図ってまいります。人口減少に伴う労働力不足という社会課題を背景に、域内外人材のマッチングを通じた持続可能な地域経済の形成を支援し、プラットフォーム事業と関連受託事業を組み合わせた高収益な事業モデルの確立を目指します。

④ その他

新規事業の育成及び面白法人としてのブランド価値向上に資する事業群を管理するセグメントです。規律ある多角化を前提に、独自性の高い事業への投資と管理を行い、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

なお、文中の将来に関する事項は、当第３四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第３四半期連結累計期間における日本経済は、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢や金融資本市場の動向など、先行きには引き続き注意が必要な状況にあります。また、当社グループを取り巻く事業環境として、生成AI等による技術革新が様々な産業に影響を及ぼし、新たな事業機会が生まれる一方、サイバー攻撃の高度化など情報セキュリティ上のリスクも高まっております。

このような環境の中、当社グループにおいては、セキュリティ対策の強化を図りつつ、生成AI等の新技術をコンテンツ開発や事業運営に積極的に取り入れ、新たなコンテンツの創出と生産性向上に取り組んでおります。

ゲーム領域においては、カジュアルゲームを中心として日本企業として世界市場におけるアプリダウンロード数で５年連続１位を達成しております。さらに、上記のとおり今期は投資フェーズとなりますが、大型IPとの共同開発による新規ゲーム事業も順調に進んでおります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高は16,373,270千円（前年同期比15.1％増）、営業利益は721,768千円（前年同期比2.4％増）、経常利益は729,492千円（前年同期比17.8％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は332,268千円（前年同期比48.6％減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（ブランド＆マーケティング）

売上高は5,457,151千円（前年同期比14.6％増）となりました。また、セグメント営業利益は477,125千円（前年同期比28.1％増）となりました。

当第３四半期会計期間はマッチングアプリ「Tinder」のポップアップイベント「恋愛薬局」などの話題性あるコンテンツのローンチが進みました。本セグメントの主要KPIは期末にまとめて開示いたします。

（ゲーム・アニメ）

売上高は8,280,295千円（前年同期比16.0％増）となりました。また、セグメント営業利益は456,567千円（前年同期比24.9％減）となりました。

主要KPIの新作タイトルリリースについては、「Slow Mo Strike」「Bounce Ball Escape」の２本（通期目標に対して６／10本の進捗）のハイパーカジュアルゲームをリリースし、順調に推移しています。

（ちいき資本主義）

売上高は696,025千円（前年同期比6.1％増）となりました。また、セグメント営業利益は101,738千円（前年同期比82.5％増）となりました。

主要KPIのスマウトの各指標については、ユーザー数：98,512（通期目標 130,000）、有料地域数：1,111（通期目標1,184）、民間導入比率：13%（通期目標 20%）となり、有料地域数は比較的好調に推移しているものの、民間の導入に遅れが出ています。

（その他）

売上高は1,939,798千円（前年同期比16.4％増）となりました。また、セグメント営業損失は74,835千円（前年同期セグメント営業損失は21,803千円）となりました。

なお、本セグメントは事業内容が多岐に渡るため、主要KPIは未設定となっております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,114,484千円増加し、15,671,229千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加1,016,851千円及び売上債権及び契約資産の増加380,399千円であります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,791,128千円増加し、9,050,454千円となりました。主な要因は、買掛金の増加600,967千円及び長期借入金の増加1,016,912千円であります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ323,356千円増加し、6,620,774千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加332,268千円及び配当による利益剰余金の減少60,093千円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2026年２月16日公表の「2025年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,250,215	6,267,066
売上債権及び契約資産	3,746,677	4,127,076
営業投資有価証券	408,934	446,784
仕掛品	129,715	279,145
その他	473,960	788,300
貸倒引当金	△15,739	△6,398
流動資産合計	9,993,763	11,901,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,231,758	1,155,508
工具、器具及び備品（純額）	91,554	98,133
土地	632,228	632,234
その他（純額）	53,568	79,027
有形固定資産合計	2,009,110	1,964,903
無形固定資産		
のれん	451,770	521,526
その他	367,988	364,800
無形固定資産合計	819,758	886,326
投資その他の資産		
投資有価証券	243,332	227,923
繰延税金資産	213,378	359,234
その他	341,286	410,846
貸倒引当金	△63,885	△79,981
投資その他の資産合計	734,111	918,023
固定資産合計	3,562,980	3,769,253
資産合計	13,556,744	15,671,229

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	719,982	1,320,949
短期借入金	499,165	444,986
1年内返済予定の長期借入金	929,557	1,279,425
未払金	923,250	905,426
未払費用	352,351	399,695
未払法人税等	368,057	180,386
契約負債	121,469	136,607
預り金	1,294,407	1,190,328
その他	164,414	284,407
流動負債合計	5,372,655	6,142,213
固定負債		
長期借入金	1,800,918	2,817,831
その他	85,752	90,410
固定負債合計	1,886,671	2,908,241
負債合計	7,259,326	9,050,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	900,238	900,238
資本剰余金	1,145,529	1,144,006
利益剰余金	4,092,733	4,364,908
自己株式	△391,581	△391,581
株主資本合計	5,746,919	6,017,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,027	△6,778
為替換算調整勘定	△18	△77
その他の包括利益累計額合計	13,009	△6,855
新株予約権	37,819	41,559
非支配株主持分	499,669	568,498
純資産合計	6,297,418	6,620,774
負債純資産合計	13,556,744	15,671,229

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	14,222,000	16,373,270
売上原価	6,305,871	7,888,951
売上総利益	7,916,129	8,484,318
販売費及び一般管理費	7,211,184	7,762,550
営業利益	704,944	721,768
営業外収益		
受取利息	10,644	43,882
受取配当金	1,259	1,839
為替差益	－	6,330
その他	28,606	52,223
営業外収益合計	40,510	104,275
営業外費用		
支払利息	19,621	33,079
持分法による投資損失	84,998	49,376
為替差損	18,285	－
その他	3,082	14,095
営業外費用合計	125,987	96,551
経常利益	619,467	729,492
特別利益		
固定資産売却益	271	－
投資有価証券売却益	103,155	－
関係会社株式売却益	235,622	2,554
事業譲渡益	5,345	－
持分変動利益	5,508	－
特別利益合計	349,903	2,554
特別損失		
投資有価証券評価損	60,173	19,500
特別損失合計	60,173	19,500
税金等調整前四半期純利益	909,198	712,546
法人税、住民税及び事業税	354,527	360,866
法人税等調整額	△74,758	△46,388
法人税等合計	279,768	314,478
四半期純利益	629,429	398,068
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△17,550	65,799
親会社株主に帰属する四半期純利益	646,979	332,268

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	629,429	398,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,295	△20,499
為替換算調整勘定	74	△59
その他の包括利益合計	9,370	△20,558
四半期包括利益	638,799	377,509
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	655,561	312,403
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,761	65,105

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	ブランド&マーケティング	ゲーム・アニメ	ちいき資本主義	その他	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,761,076	7,138,605	655,847	1,666,471	14,222,000	－	14,222,000
外部顧客への売上高	4,761,076	7,138,605	655,847	1,666,471	14,222,000	－	14,222,000
セグメント間の内部売上高又は振替高	66,713	23,307	3,675	103,940	197,637	△197,637	－
計	4,827,790	7,161,912	659,522	1,770,412	14,419,637	△197,637	14,222,000
セグメント利益又は損失(△)	372,388	608,228	55,754	△21,803	1,014,567	△309,623	704,944

(注)１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△309,623千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	ブランド&マーケティング	ゲーム・アニメ	ちいき資本主義	その他	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	5,457,151	8,280,295	696,025	1,939,798	16,373,270	－	16,373,270
外部顧客への売上高	5,457,151	8,280,295	696,025	1,939,798	16,373,270	－	16,373,270
セグメント間の内部売上高又は振替高	108,687	22,833	980	136,128	268,629	△268,629	－
計	5,565,839	8,303,128	697,005	2,075,927	16,641,900	△268,629	16,373,270
セグメント利益又は損失(△)	477,125	456,567	101,738	△74,835	960,596	△238,827	721,768

(注)１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△238,827千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの変更等に関する事項

当社グループはこれまでにデジタルコンテンツ事業のみの単一セグメントであったことから、セグメント情報の開示を省略しておりましたが、当連結会計年度より経営管理区分の見直しに伴い、報告セグメントを「ブランド&マーケティング」、「ゲーム・アニメ」、「ちいき資本主義」及び「その他」に区分して開示しております。

なお、前年同期のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	131,839千円	174,677千円
のれん償却額	116,061千円	100,464千円